

# 家庭保育園への補助金改善へ

## - 日本共産党市議団の論戦が行政を動かす -

家庭保育園への補助金

年齢	2019年度	2020年度
0歳児	25000円	25500円
1歳児	7500円	7900円
2歳児	7500円	7900円
3歳児	2250円	2400円
4歳児	1500円	1600円
5歳児	1500円	1600円

今年度、尾道市家庭保育園連絡協議会と共産党市議団が強く求めていた「尾道市家庭保育園」に対しての補助金の増額が行われました。左の表に記載していますが、金額的には若干ではありますが、子育て支援課では、これからの、さらに補助金の見直しに取り組みと担当者から話を聞くことができました。

日本共産党市議団は、これまで、尾道市の家庭保育園（無認可保育園）に補助金の増額を強く求めてきました。尾道市の家庭保育園は都会によくある営利主義の無認可保育園とは違って、地域に根差して、独自の保育を行っている大切な保育施設であると考へています。昨年の11月には「家庭保育園連絡協議会」と一緒に補助金の増額を求めてきました。また、12月議会の中でもこの問題をとり上げて、乳幼児保育の充実のためにも補助金の増額を求めてきました。今年度、若干ではありますが補助金の増額が認められました。これからの乳幼児保育の更なる充実を求めて補助金の抜本的な見直しを求めていきます。

尾道市の家庭保育園は都会の無認可保育園と違い、尾道市の求める保育方針に基づいて、日々の記録や週案を認可保育園と同様に提出して運営されています。また、待機乳幼児が出ないよう尾道市からの要求に応えて受け入れも行ってきた実績も多くあります。保育料も企業型の保育園のように営利追求型ではなく、地域密着型で独自の乳幼児保育に取り組まれている大切な施設です。このように無くてはならない家庭保育園をしっかりとバックアップしていくことが行政に求められています。今後も担当課と話し合いを進めていきます。



日本共産党  
市議会議員団  
週刊議会報告  
【発行】  
岡野長寿  
(0845-22-2596)  
三浦とおる  
(0848-48-5044)

### 2019 12月議会 放課後児童クラブ なぜ民間委託？

このコーナーでは昨年度の共産党市議団の論戦を議事録から紹介しています。

**三浦議員 補正予算案に放課後児童クラブ運営委託料があがっています。この内容は？**

**子育て課長** 今年8月から、因北、重井、瀬戸田の放課後児童クラブの3クラブを直営から民間事業者へ運営を切り替えたことによるものです。

**三浦議員** 民間委託で支援の内容や人数、指導員の数、指導内容が大きく変わったことはないので、子育て課長 あくまで公設民営ということで、運営のみを委託しておりますので、配置基準や利用料、利用時間につきましては今ままで変更ありません。運営も基準にのっとってやっていたいただきますので、中身が変わることはありません。

**三浦議員** 委託が8月になったのは理由があるのですか。

**子育て課長** 因北と瀬戸田で利用児童数が伸び、今年度から支援員を増やしたのですが、夏休みになるとさらに利用児童が増えることと、長時間の開設になりますのでそこを補助する支援員が必要になります。特に現地の職員確保というのが難しい状況でしたので、夏休みを乗り切らなければならないので、8月から民間委託を決定しました。

**三浦議員** 夏休みや冬休みは必ず児童が増えるというところで、家庭の負担にならないよう、支援員の確保をお願いします。

### 新型コロナウイルス感染対策で 放課後児童クラブの環境改善

現在、世界中で、「新型コロナウイルス感染症問題」が大きな政治的課題になっています。この新型コロナウイルスに対する対策が大きな社会問題になっており、尾道市でも学校の休校に伴って、保護者の方や放課後児童クラブの先生、教員、給食を納入している業者の方々が困りになっていました。今度も「新型コロナウイルス対策」を尾道市独自でやっていくように様々な困りごとの申し入れを行っていきます。

そのような中で、放課後児童クラブの生活環境が改善される。現在、世界の中で、「新型コロナウイルス」が大きな政治的課題になっています。この新型コロナウイルスに対する対策が大きな社会問題になっており、尾道市でも学校の休校に伴って、保護者の方や放課後児童クラブの先生、教員、給食を納入している業者の方々が困りになっていました。今度も「新型コロナウイルス対策」を尾道市独自でやっていくように様々な困りごとの申し入れを行っていきます。

現在、世界の中で、「新型コロナウイルス」が大きな政治的課題になっています。この新型コロナウイルスに対する対策が大きな社会問題になっており、尾道市でも学校の休校に伴って、保護者の方や放課後児童クラブの先生、教員、給食を納入している業者の方々が困りになっていました。今度も「新型コロナウイルス対策」を尾道市独自でやっていくように様々な困りごとの申し入れを行っていきます。

現在、世界の中で、「新型コロナウイルス」が大きな政治的課題になっています。この新型コロナウイルスに対する対策が大きな社会問題になっており、尾道市でも学校の休校に伴って、保護者の方や放課後児童クラブの先生、教員、給食を納入している業者の方々が困りになっていました。今度も「新型コロナウイルス対策」を尾道市独自でやっていくように様々な困りごとの申し入れを行っていきます。